

共創型対話学習研究所 機関誌 (論文集)

未来を拓く教育実践学研究 第3号

特集「互恵としての教育」—池田康文氏を偲んで—

共創型対話学習研究所 編

共創型対話を活用した対話型授業の開発、教育・学習の基盤の問い直しなどを目的とする共創型対話学習研究所による論文集。教育学研究者・教育実践者たちによる、ときに学校教育の枠を超えた、さまざまな「学びの形」の論考を収載。

また今号では、「教育新聞」編集局次長を務め、共創型対話学習研究所の創設にも携わった教育者・研究者である池田康文氏の追悼としてその思想・哲学を振り返ります。

◆目次

【巻頭言】教育実践と教育理論の狭間で葛藤する大切さ——増淵幸男(金沢学院大学)

<特集論文> 特集「互恵としての教育」

心優しき思索の人、池田康文氏を悼む——多田孝志(金沢学院大学)

遺稿から読み解ける池田康文氏の思想——多田孝志(金沢学院大学)

アクティブ・ラーニングとICT 活用——今田晃一(金沢学院大学)

学校の経営行為の変革とリーダーシップに関する一考察——米澤利明(金沢学院大学)

<自由投稿論文>

女性校長のマネジメントの力量形成に関する一考察——青木一(信州大学)

対話を意識した「協働」についての一考察——垣崎授二(横浜市立秋葉小学校)

第二次世界大戦以降のポーランドの教育と表現についての一考察——南雲まき(金沢学院大学)

「高校生のための学びの基礎診断」の創設と活用について——菊池智之(文部科学省)
ほか

<教育実践記録>

持続可能な大牟田のまちづくり——安田昌則(福岡県大牟田市教育委員会 教育長)

人材を育てるための校長の役割——山口修司(松江市立雑賀幼稚園)

13年間のESD実践をふりかえって——手島利夫(江東区立八名川小学校 前校長)



◆編者

共創型対話学習研究所

2016年設立。真にグローバル時代を生きる資質・能力、技能もった人間を育成するための対話を活用した学習(対話型学習)の基本的考え方と具体的方途を明らかにし、これからの学びの方向について提案し、学びの質的向上に貢献することを目的に活動している。

ご注文申込書 貴店名 / 帖合	注文数	発行：共創型対話学習研究所 発売：株式会社三恵社 TEL:052-915-5211 FAX:052-915-5019
	冊	共創型対話学習研究所 [編] 未来を拓く教育実践学研究 第3号 172頁 / A5判 / 並製 定価 1,667円(税別) ISBN978-4-86487-972-9 C1037
ご注文は、JRCへ FAX:03-3294-2177(TEL:03-5283-2230) 株式会社JRC経由で、すべての取り次ぎへの出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。		

※取次配本はありません。